


 TRADE MARK
 外科用殺菌消毒剤
日本薬局方

消毒用エタノール
 Ethanol for Disinfection

500mL

タツミ薬品工業株式会社
 大阪市東成区大今里南5丁目14番6号

1999年11月改訂(新様式第1版)*	
2000年4月改訂(新様式第2版)**	
日本標準商品分類番号	872615
承認番号	61AM第416号
薬価収載	1986年1月
販売開始	1952年2月
再評価結果	1982年8月

【貯法】

遮光した気密容器に入れて、火気を避けて保存。

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)
損傷皮膚及び粘膜 [刺激作用を有するので]

【組成・性状】

1. 組成

本品は15℃でエタノール(C_2H_5O :46.07)76.9~81.4 vol%を含む(比重による)。

2. 性状

本品は無色澄明の液で、特異なおい及びやくような味がある。本品は水と混和する。本品は点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。本品は揮発性である。比重d₄²⁰:0.860~0.873。

【効能・効果】

手指、皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療用具の消毒

【用法・用量】

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 副作用

過敏症: 発疹等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること(頻度不明)。

皮膚: 刺激症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること(頻度不明)。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

3. 適用上の注意

(1) 人体

ア) 外用にのみ使用すること。

イ) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。

ウ) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。

エ) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

(2) その他

ア) 本剤血清、胆汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

イ) 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

ウ) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装力テール等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

4. その他の注意**

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酔い感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】*

本剤は、使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【取扱い上の注意】

引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。

【火気厳禁】

アルコール類
水溶性
危険等級Ⅱ

製造番号

